



Ver : FRMJR001

マーフィーの スパンモデル®・スーパーボリンジャー 簡易レポート

スパンモデル®・スーパーボリンジャーによる最強の実践トレード手法
特別会員向け

マーフィー(柁木利彦)著

マーフィー・スパンモデル・スーパーボリンジャーは弊社の商標です。
URL 部分をクリックするとそのページに飛ぶことができます。

エフピーネット出版部

FPnet®

最強の実践トレード手法

マーフィーの-spanモデル・スーパーボリンジャー

プロ中のプロとして 20 年以上も為替の世界で勝ち残ってきたマーフィー（**柁木利彦**）氏が編み出した手法であるモデル・スーパーボリンジャーを以下簡単に解説いたします。

モデル・スーパーボリンジャーの特徴を最初に列記します。

- **大相場に強い（大暴落相場にも強い）**

- ・ **トレンドに乗り続けることができるので、大相場には特に威力を発揮します。**

- ・ **暴落相場を大きく取るのは得意です。**

- （2008 年 10 月の大暴落でも、大きく取ることができました。）

- **デイトレードから長期投資まで**

- ・ **全くトレンドが無い相場に見えても、実際には、1 分足・1 時間足・日足のどこかにトレンドが発生していますので、そのトレンドに乗ることができます。**

- **シンプル**

- ・ **分かりやすいシグナルですので、初心者の方からプロまで活用可能です。**

- **相場と戦うのではなく、相場と友達になる手法**

- ・ **相場というモンスターと戦って勝つのは大変ですが、モンスターを味方、そして友とする手法ですので、あなたの生涯収益（キャリア・プロフィット）を拡大させます。**

ぜひ、ご一読頂いて、私が何故、敢えて「最強の投資法」と申し上げているかご理解頂ければ幸いです。

マーフィー（**柁木 利彦**）

●成功トレードの秘訣は、現在の相場に焦点を当て、知ること。

相場に参加する上で一番大切なことは、今現在の相場が買いなのか、売りなのかを知ることです。

一般世の中では、「相場予想」に関心が向かう傾向があります。

しかし、実は、実際にトレードを行う私達にとって、これから先の相場を「予想」することは良くないことなのです。

何故ならば、「予想」をすること自体が多くの弊害を生むからです。

これから起こる相場の「予想」に拘ると、結局は期待感をもって相場を見てしまい、損切りが遅れる一方で、利食いは早目に行うという「利小損大」という結果に陥ってしまいます。

自分の相場観に拘ってしまい、実際の相場が自分の思惑通りに推移しなくなっても、自分が造成したポジションをいつまでも引っ張り続けてしまいます。

挙句の果てに、自分の相場観を見直す余裕もなくなり、精神状態が錯乱状態になって、最悪のレベルでポジションを手仕舞う結果となってしまいます。

そもそも、相場への期待感、恐怖感の裏返しでもあるのです。

言い換えると、人間の煩悩に支配され過ぎることになるわけです。

このようなスタンスでいると、どれだけトレードを行っても、時間が経てば経つほどトータルでネット損が増えていきます。

私は、生涯収益（キャリア・プロフィット）を如何にして増大させるかを目標に独自のトレード手法を生み出しました。

それが、「スパンモデル」であり、私流の「ボリンジャーバンド」（「スーパーボリンジャー」）なのです。

●誰でも簡単に判断することができる トレード手法であること。

短期のデイトレード派から、長期派まで活用することが可能です。

初心者の方から、上級者まで活用出来ます。

実際に友人である多くのプロの方にも注目して頂いているトレード手法です。

「スパンモデル」(商標申請中)は私が考案した 相場分析手法であり、一目均衡表をベースに独自にアレンジをしたものです。

これに、「スーパーボリンジャー」(ボリンジャーバンドを応用アレンジしたもの)を組み合わせて分析を行います。

私の場合は、一般的な「ボリンジャーバンド」の見方とは異なり、多くの点で、特殊な分析手法を駆使しております。

一般のチャート分析と何が違うのかと申しますと、何と言っても、利用方法がシンプルであることです。

誰でも簡単に判断出来るということです。

私は、相場に参加する上で、「シンプル イズ ベスト」という考え方を持っています。

成功トレードを行うには、まずは、対象としている相場が上昇相場なのか、下降相場なのか、それともボックス相場なのかを知る必要があります。

そして、その相場にはトレンドが生じているのか、トレンドの強さはどの程度なのかを知る必要があります。

私が「知る」と書いたのは、何も複雑な分析などを行う必要なく、ただ、一瞬にして見える、分かるという意味です。

成功トレードを行うには、参加して良い相場とそうでない相場があります。

参加すべき相場は、トレンドが明確であり、且つ持続力のある相場です。

そして、一旦参加すべき相場であると分かったなら、一刻も早くポジションを取り、参入することが成功トレードを行う秘訣です。

その情報を与えてくれるのが、「スパンモデル」であり、「スーパーボリンジャー」なのです。

この「スパンモデル」「スーパーボリンジャー」を軸に売買をすれば、誰もが収益につながるトレードを行うことが可能になります。

ところで、「スパンモデル」の最大の特徴は、市場の相場要因を全て織り込んでいくという点です。

ファンダメンタルズ要因はもちろんのこと、心理的要因すら織り込んでいくのです。

「スパンモデル」の中のゾーン（サポートゾーン、レジスタンスゾーン）の形状、ゾーンと実勢レベル（ローソク足）との位置関係、そして遅行スパンと実態線との位置関係等々が、あらゆる要因から生み出される相場方向を示唆してくれるわけです。

さらに、相場のトレンド性を計る上で強力な武器となるのが「スーパーボリンジャー」です。

トレンドの有無、そして、トレンドの強弱を判断する尺度として、「スーパーボリンジャー」は優れた分析手法となります。

●あらゆる条件に合致したトレードが可能。

「スパンモデル」「スーパーボリンジャー」分析は、それを使う人のトレード環境、資金量、許容リスク量、収益目標に応じて、いかようにでも利用することが可能です。

すなわち、一日の中で完結させたいと思っている方には、日計りトレードに最も適した「1分足スパンモデル」「5分足スパンモデル」と「60分足スーパーボリンジャー」の統合的利用が適しています。

また、数日から、数週間、さらには数か月に及ぶ相場トレンドを追いかけたい方には、「60分足スパンモデル」「日足スパンモデル」「日足スーパーボリンジャー」「週足スーパーボリンジャー」の統合的利用が適しています。

その意味で、ポジションのエントリーレベルやロスカット（損切り）レベルは、何れの時間枠の「スパンモデル」「スーパーボリンジャー」を利用するかで異なってきます。

要するに、それぞれの投資家の方の置かれたトレード環境に従って、最も相応しいトレードが出来るわけです。

私は、幾らで買う、売るといった情報をお伝えすることよりも、**皆様がご自分の好きな時間に、ご自分が最も適当とご判断される時間枠（1分足～日足等）に応じてポジションを取られる上で、最高の売買判断をご自身で下すことが出来るよう、最大限のお手伝いさせて頂きたいのです。**

投資家の皆様ご自身が、外国為替相場、株式相場、商品相場等々にて取引される際に、ベストの売買判断を行えるように出来るようコーチングさせて頂くことに最重点を置いています。

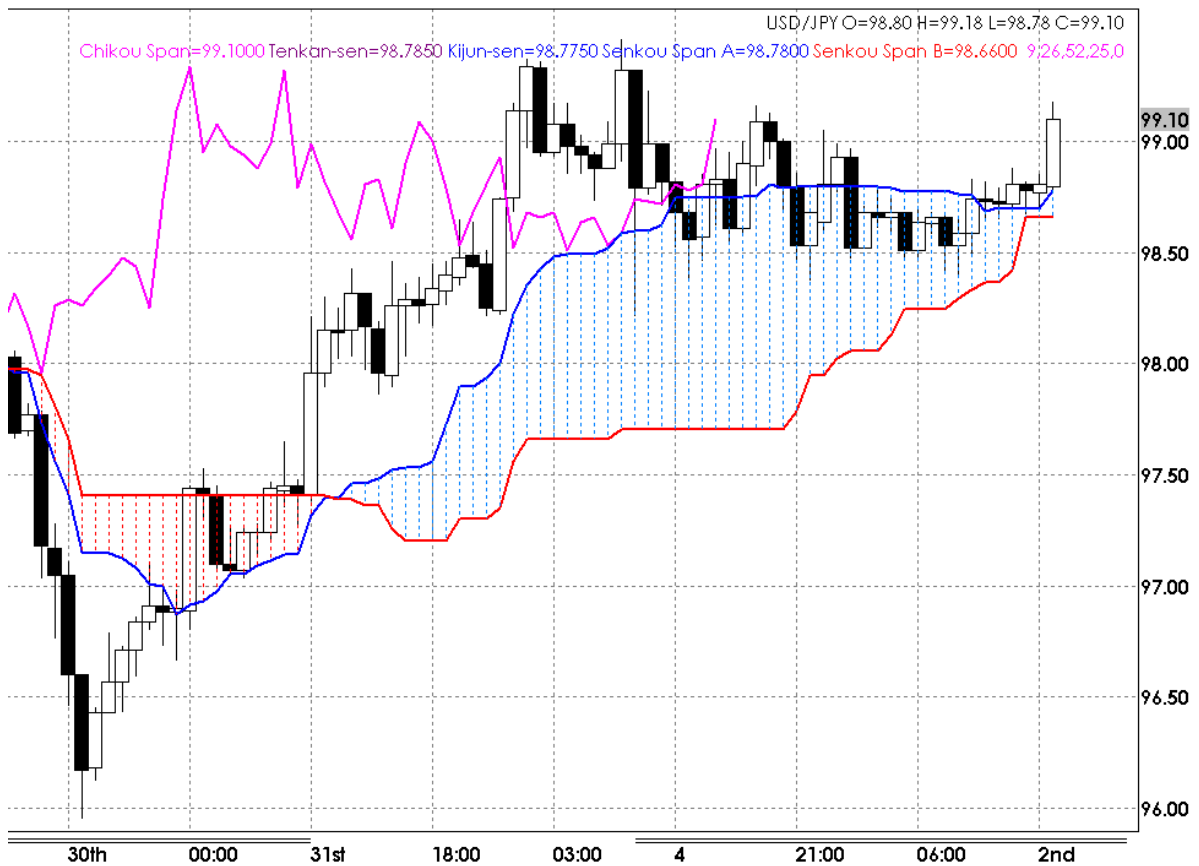
もはや世の中の誰がどのような相場観をもっていようが関係ないのです。

ご自身の下される判断を信じるのがベストとなるようにコーチングさせて頂きたいと思っております。

どうぞ、自信を持ってついて来て頂ければ、ご自身で成功トレードを体験されることと思います。

それでは、以下、簡単に「スパンモデル」と「スーパーボリンジャー」分析をご紹介します。

● 「スパンモデル」 についての簡単なご紹介



<チャート概略>

上記のチャートは、チャートソフト「Dealbook」で作成したドル円相場の「60分足スパンモデル」です。

チャート上、実勢のローソク足、青色のゾーンと赤色のゾーン、遅行スパン（紫色のライン）が見えます。

青色のゾーンはサポートゾーンを示し、青色スパンが上方に位置し、赤色スパンが下方に位置する場合は。

赤色のゾーンはレジスタンスゾーンを示し、赤色スパンが上方に位置し、青色スパンが下方に位置する場合は。

紫色のラインは遅行スパンです。

続いて、トレード方法、売買の判断について、以下に簡略説明致します。

<トレード方法>

買いシグナルは青色スパンが赤色スパンを上回った時です。すなわち、青色ゾーン（サポートゾーン）が出現するタイミングです。

売りシグナルは赤色スパンが青色スパンを上回った時です。すなわち、赤色ゾーン（レジスタンスゾーン）が出現するタイミングです。

シグナル点灯後は、実勢ローソク足とゾーンとの位置関係に注目です。

買いシグナル点灯中は、実勢ローソク足がサポートゾーンの上限（青色スパン）に接近する時が押し目買いのチャンスです。

実勢ローソク足がサポートゾーン内に入り込む場合は相場上昇力が弱まっている場合ですが、基本的には、サポートゾーンの下限にかけては押し目買いのチャンスでもあります。

売りシグナル点灯中は、実勢ローソク足がレジスタンスゾーンの下限（青色スパン）に接近する時が戻り売りのチャンスです。

実勢ローソク足がレジスタンスゾーン内に入り込む場合は相場下落力が弱まっている場合ですが、基本的には、レジスタンスゾーンの上限にかけては戻り売りのチャンスでもあります。

遅行スパン（紫色のライン）は実態ローソク足（遅行スパンと同じ時間に位置するローソク足）の上方に位置すれば陽転（買い）、下方に位置すれば陰転（売り）となります。

この遅行スパンと先ほどの青色スパン、赤色スパンの位置関係を総合的に判断することで、売買シグナルの信頼度が一層高くなります。

上記の通り、売買シグナルに従い淡々とトレードすることが成功トレードの秘訣です。

● 「スーパーボリンジャー」についての簡単なご紹介



<チャート概略>

上記のチャートは、チャートソフト「Dealbook」で作成したドル円相場の「60分足スーパーボリンジャー」です。

チャート上、実勢のローソク足、センターラインである21時間線（青色のライン、この場合は60分足をベースとしているため、21時間移動平均線となります）、

プラス・マイナス1シグマライン（緑色の2本のライン）、プラス・マイナス2シグマライン（赤色の2本のライン）、プラス・マイナス3シグマライン（水色の2本のライン）が見えます。

さらに、遅行スパン（紫色のライン、スーパーボリンジャーの場合は、直近ローソク足の終値を21単位過去に戻した点を繋いだライン）が見えます。

続いて、トレード方法、売買の判断について、以下に簡略説明致します。

<トレード方法>

この「スーパーボリンジャー」は、「スパンモデル」を補完するものです。

すなわち、「スーパーボリンジャー」は、トレンドの有無、トレンドの強弱を判断する上で、非常に有効な分析手法です。

一見すると、普通のボリンジャーバンドと同じですが、実際の分析方法は、多くの点で独自のものです。

センターラインの方向、バンド幅（拡大、縮小傾向等々）、実勢ローソク足とセンターラインや各シグマラインとの位置関係に従って、トレンド性を検証、判断します。

例えば、センターライン（青色のライン）が下落方向に転じ、バンドが次第に拡大していく中で、実勢ローソク足がセンターラインを下回ると下落トレンドとなります。

尚、この下回るかどうかの判断は、終値ベースで行います。

実勢ローソク足がマイナス1シグマライン（緑色のライン）とマイナス2シグマライン（赤色のライン）の間で推移する場合は、「巡航速度」の下降トレンドと判断されます。

この「巡航速度」のトレンドがトレードを行う上で最も理想的なステージです。

実勢ローソク足が終値ベースでマイナス1シグマラインを上抜けてくると、相場の下降トレンドの勢いが減退していることを示します。

そして、センターラインが下落傾向からフラットする過程で、実勢ローソク足がセンターラインを上回って引けると、トレンド転換の確認となります。

さらに、遅行スパンは、同位置にある実態ローソク足の上方に位置していれば買い優勢、実態ローソク足の下方に位置していれば売り優勢を示唆します。

この「スーパーボリンジャー」と前述の「スパンモデル」を統合的に利用することによって、相場のトレンド判断の信頼度を大幅に向上させることができます。

● 『Deal Book (ディールブック)』による「スパンモデル」設定

「スパンモデル」の具体的解説に入る前に、『Deal Book (ディールブック)』という米国GFT社が提供するテクニカル・チャート機能を説明しておきたいと思います。

『Deal Book (ディールブック)』はテクニカル指標の表示機能が、とても優れています。

『Deal Book (ディールブック)』をお持ちでない方は、以下のサザ・インベストメントで口座開設しておくといいでしょう。

デモトレードで、お試しも可能です。

サザ・インベストメント

<http://www.xfine.info/1/saza.html>

手数料無料・スプレッドも狭く（ドル／円で2銭）、証拠金は信託保全されており、重要指標発表時にも比較的安定していますので、短期売買の方にも向いています。

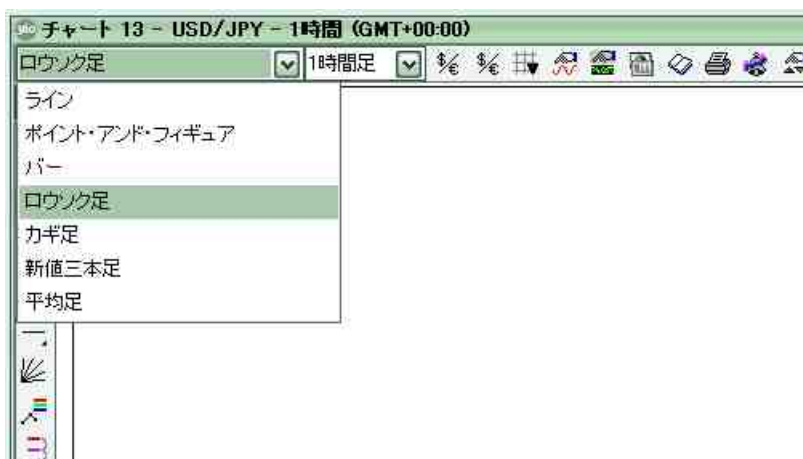
●基本チャートの作成

『Deal Book』にて、「基本チャート」を作成します。

・ローソク足の設定

チャートがローソク足になってない場合、「チャート画面」の左上欄でローソク足を選択します。

その右隣の足の設定欄は、とりあえず「日足」に設定すると良いでしょう。



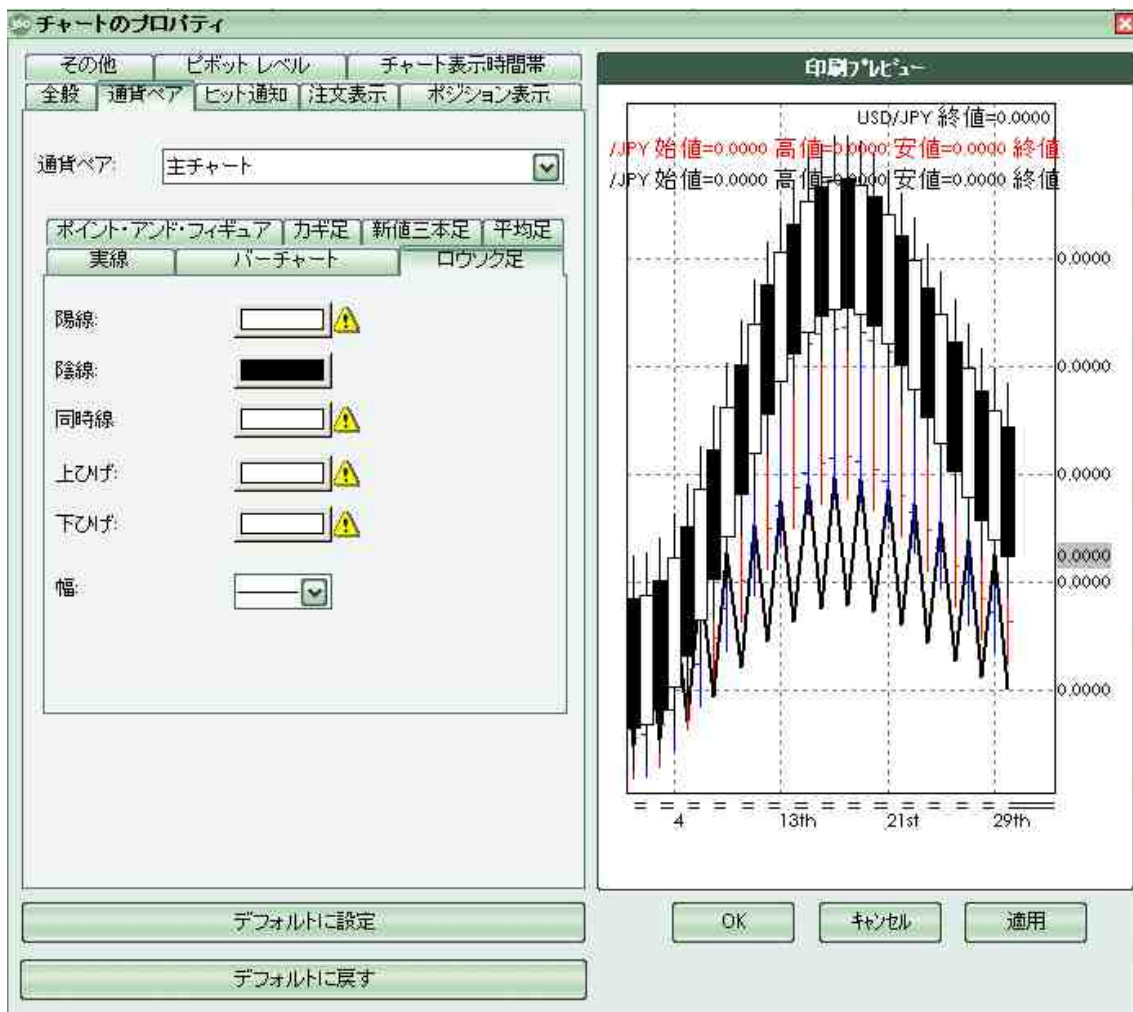
以下のようなチャートが表示されることになります。



・ローソク足の色設定

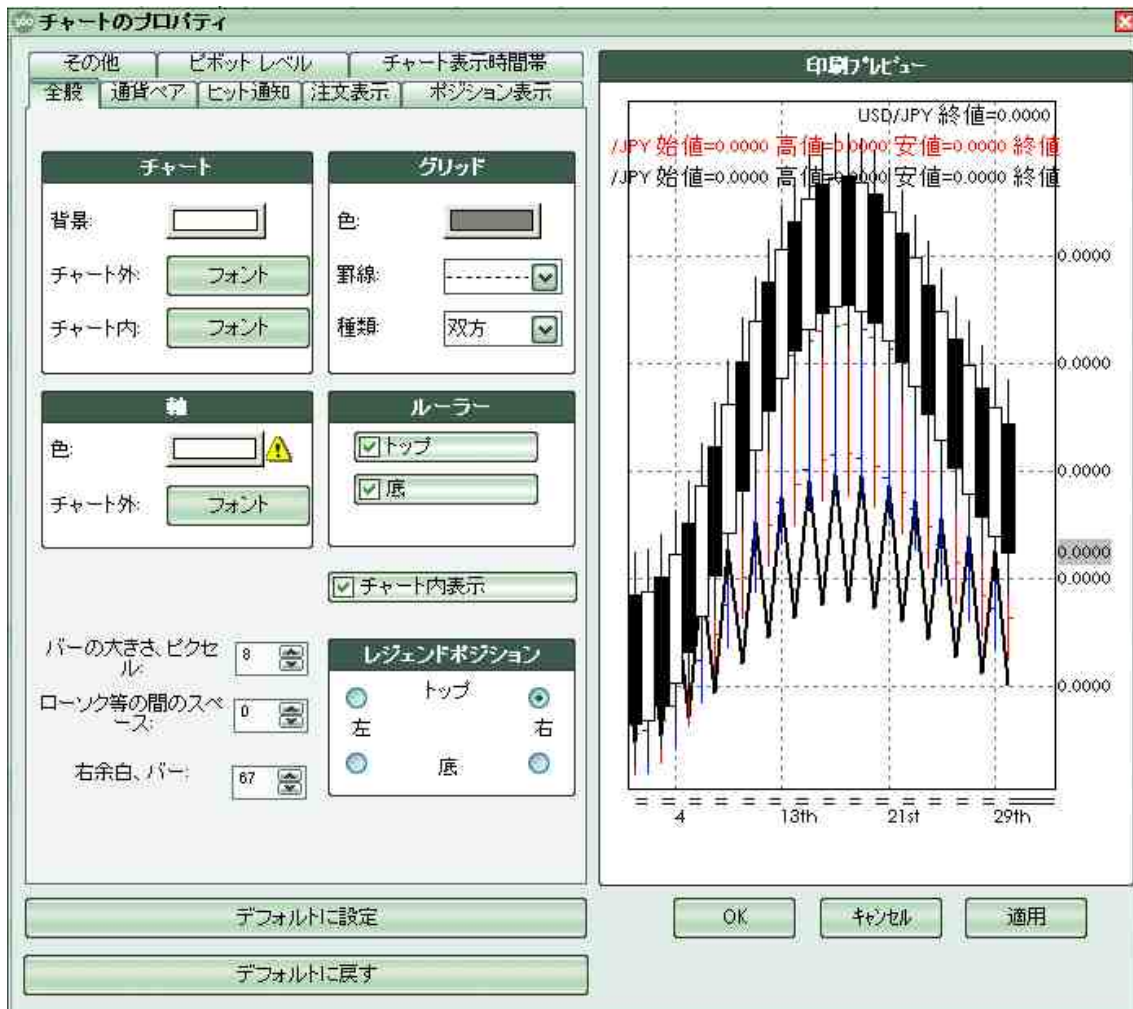
「チャート」の上部のチャートの設定をクリックして「チャートのプロパティ」を表示させます。

「通貨ペア」をクリックし、「ローソク足」の中で、以下のように、「陽線」、「陰線」をそれぞれ、白色、黒色に変更します。



・背景色の設定

また、「チャートプロパティ」画面にて、「全般」の中の「チャート」の「背景」を白色に変更しておきます。↓



上記のように設定することで、すっきりとした白黒のローソク足チャートが出来上がります。

尚、「時間枠」は「ティック」を選択すると、「ローソク足」を作成出来ませんので、「1分足」以上の時間枠を設定して下さい。

● 「スパンモデル」の作成

「インディケータの設定」ボタンをクリック。



「チャートインディケータ」が表示されます。↓

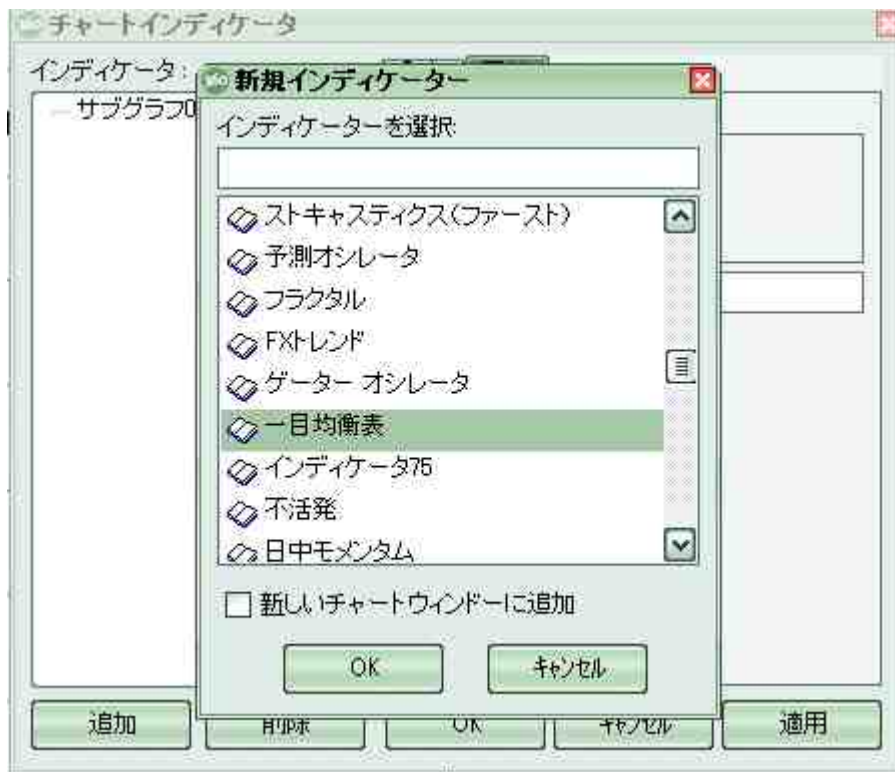


左下の「追加」ボタンをクリックします。

「新規インディケータ」画面が表示されます。

「新規インディケータ」画面で、「一目均衡表」を選択します。

(中央部くらいにあると思います)



「OK」ボタンをクリックします。

「チャートインディケータ」内に現れた「一目均衡表」を選択し、↓



「罫線」入力画面にて、

「Chikou Span」を選択し、「色」を紫色に変更します。

また、「罫線」の「幅」を一回り太くしておき、「選択」します。

「Tenkan-Sen」の「描画する」のチェックを外し、「適用」をクリックします。

「Kijyun-Sen」の「描画する」のチェックを外し、「適用」をクリックします。

「Senkou Span A」を選択し「色」を青色に、「罫線」の「幅」を一回り太く設定、「選択」します。

「Senkou Span B」を選択し「色」を赤色に、「罫線」の「幅」を一回り太く設定、「選択」します。

「Up Kumo (cloud)」を選択し、「色」を青色に変更します。

「Down Kumo (cloud)」を選択し、「色」を赤色に変更します。

最後に「OK」をクリックします。

さらに続いて、「チャートインディケータ」の「入力」画面に移ります。↓
一目均衡表をクリック>入力タブをクリック



以下のように入力します。

Tenkan Sen Period	9.00
Kijyun Sen Period	26.00
Senkou Span Period	52.00
Chikou Span Period	25.00
Hor Shift	0.00

それぞれのパラメーターを本来の一目均衡表のパラメーターに合致させる為、上記の数値に変更、入力>適用クリック>OKをクリック。

以上にて「スパンモデル」が完成、以下ようになります。

下記添付チャートは、時間枠を「日足」にしたドル円相場の「スパンモデルチャート」です。↓

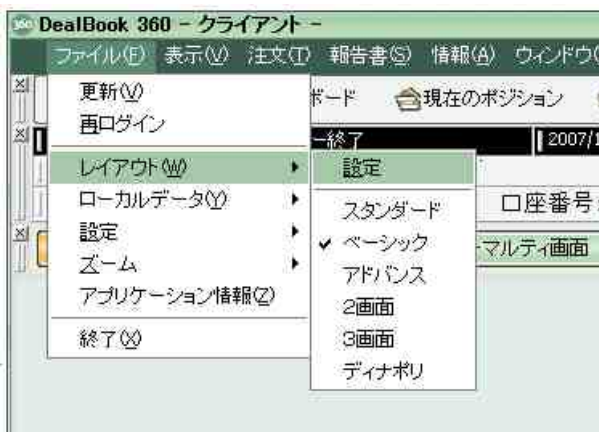


●レイアウトの保存

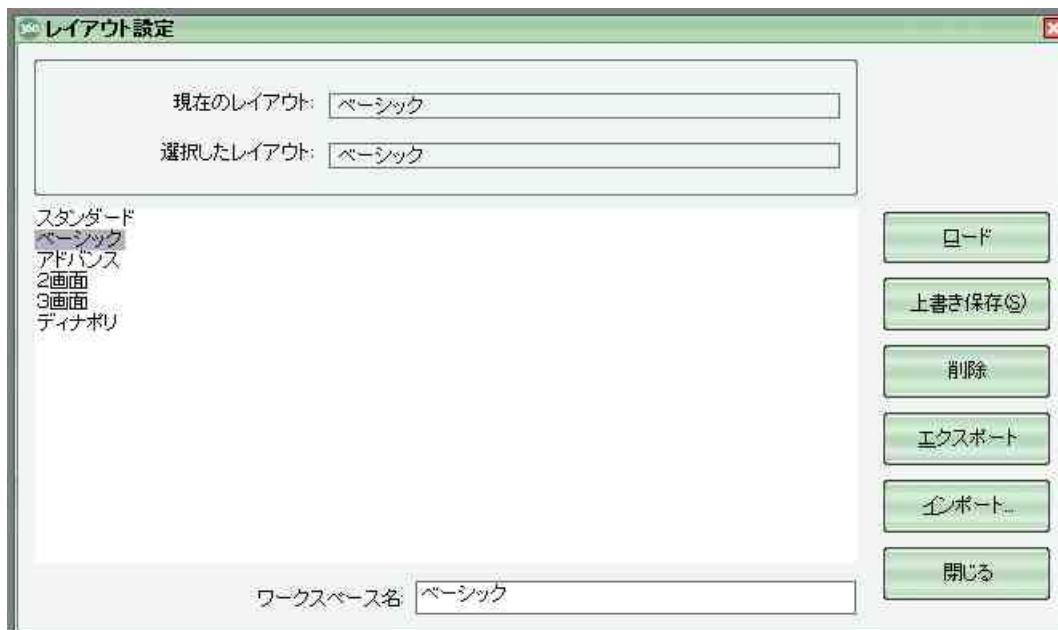
ここで設定した内容を保存しておくことによって、次回の立ち上げから設定済みの画面が立ち上がることとなります。

それでは、最後に、レイアウトを保存しておきましょう。

「ファイル」から「レイアウト」を選択し、「設定」をクリックします。



「レイアウト設定」が表示されますので、「上書き保存」をクリックします。



これで、次回以降、立ち上げると先ほどの画面が立ち上がることとなります。

■ 『DealBook』 を用いた「スーパー・ボリンジャー」の作成方法

- 1) まず、ベースのチャートを作成する為に、「チャートのプロパティ」にて、「通貨ペア」、「ローソク足」を選択します。「陽線」を白、「陰線」を黒に設定します。「適用」をクリックしてOKします。
- 2) 「インディケータ」の設定にて、「チャート・インディケータ」の中の「追加」をクリックして「ボリンジャーバンド」を選択します。
- 3) 「ボリンジャーバンド」を選択 → 入力 → レート終値 → 期間 21
→ 偏差 1 → 期間シフト 0 → 適用をクリック
- 4) 罫線 → Upper BB → ラインのスタイル → 色 緑色 → OK
Lower BB → ラインのスタイル → 色 緑色 → 適用
プラス・マイナス 1 シグマラインが完成します。
- 5) 再度、「インディケータ」の設定にて、「チャート・インディケータ」の中の「追加」をクリックして「ボリンジャーバンド」を選択します。
- 6) 「ボリンジャーバンド」を選択 → 入力 → レート終値 → 期間 21
→ 偏差 2 → 期間シフト 0 → 適用をクリック
- 7) 罫線 → Upper BB → ラインのスタイル → 色 赤色 → OK
Lower BB → ラインのスタイル → 色 赤色 → 適用
プラス・マイナス 2 シグマラインが完成します。
- 8) 再々度、「インディケータ」の設定にて、「チャート・インディケータ」の中の「追加」をクリックして「ボリンジャーバンド」を選択します。
- 9) 「ボリンジャーバンド」を選択 → 入力 → レート終値 → 期間 21
→ 偏差 3 → 期間シフト 0 → 適用をクリック
- 10) 罫線 → Upper BB → ラインのスタイル → 色 水色 → OK
Lower BB → ラインのスタイル → 色 水色 → 適用
プラス・マイナス 3 シグマラインが完成します。

1 1) 罫線 → Md BB → ラインのスタイル → 色 青色 → OK
→ 適用 → OK
センターラインである 21 時間線 (60 分足ベースの場合) が完成します。

1 2) 最後に、「遅行スパン」を設定します。

チャートインディケータ画面にて、インディケータから単純移動平均線を選択、

入力画面にて、価格⇒終値、期間⇒1.00、Displacement⇒-20.00 (マイナス 20) と入力して下さい。

罫線画面にて、色を紫色 (お好きな色でも良いです)、幅を若干太めにして下さい。

これで適用、もしくはOKとすれば完成です。

もしくは、チャートインディケータで、遅行スパンを選択、

入力ウィンドーにて、ChikouSpanPeriod を「20」に設定します。

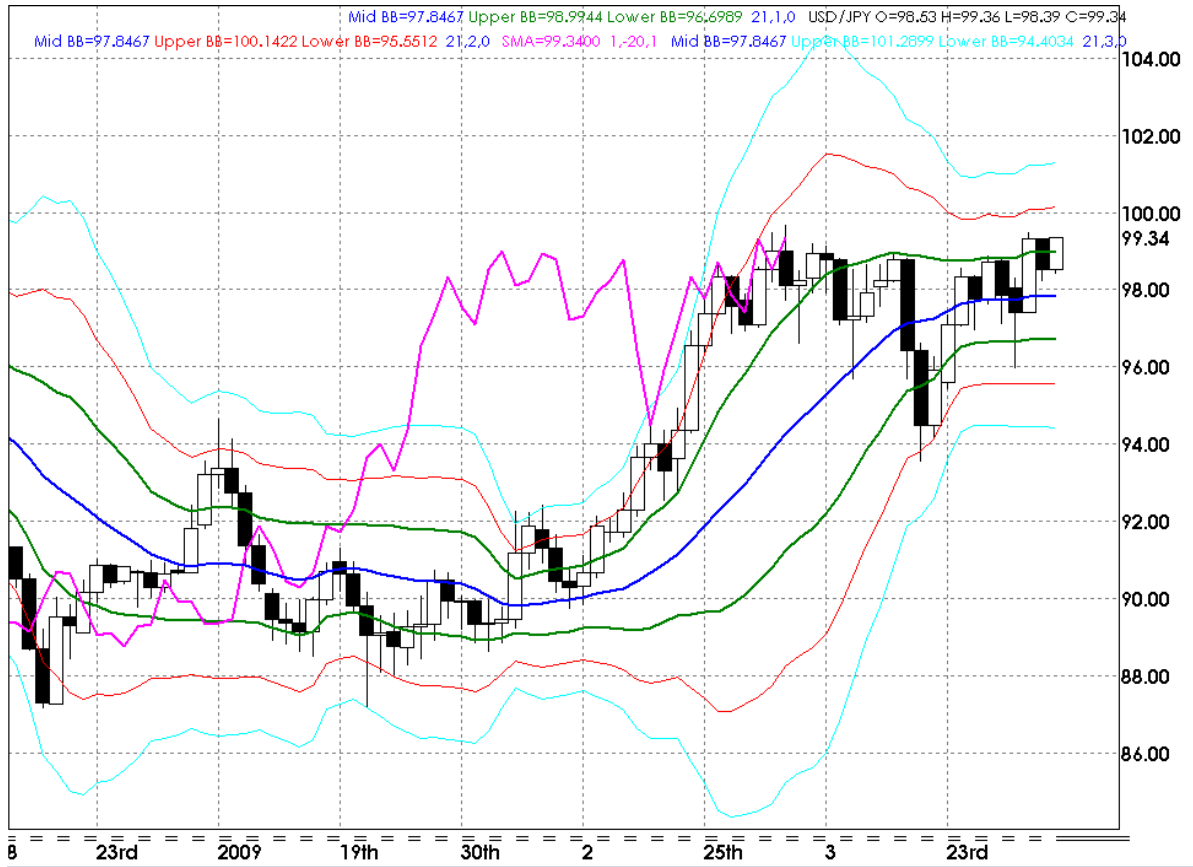
他のラインは描写しないを選択して下さい。

そして、OK すると、DealBook 上に 21 単位の遅行スパンが出来あがります。

以上でボリンジャーバンドが完成します。

尚、各シグマラインの色はお好みの色を選択して頂いても結構です。

以下に『DealBook』を用いて作成したドル円相場の日足スーパー・ボリンジャーを載せますのでご自分で作成したものと比較、確認下さい。



特別会員価格「マーフィーの最強スパンモデル FX 投資法を伝授」

プロ中のプロとして 20 年以上も為替の世界で勝ち残ってきたマーフィー（**榎木利彦**）氏が考案したシンプルで簡単な手法であるスパンモデルとスーパーボリンジャーを詳しく書いた Eブックは**特別会員価格**でご購入できますので、是非ご購入ください。

Eブック（特別会員価格）

マーフィーの最強スパンモデル F X 投資法を伝授

<http://www.xfine.info/mur/tco/index.html>

ぜひ、ご一読頂いて、相場と友達になる最強の F X 投資法をご理解頂ければ幸いです。

マーフィー（**榎木利彦**）